

丸ノ内だより

日本工學會第4回大會は、4月3、4兩日東京帝國大學講堂で開催され、盛會裡に終了した、雜觀23を紹介しします。

土木、建築、電氣、機械其他の各學會が2日間に數百人の講演をするのであるから、あれも聞き度いこれも聞き度いと思つてもさう出来ません。土木學會の講演だけでも、同時刻に數ヶ所で開催されるので、聞き漏したものが多かつたのは残念でした。熱心な出席會員の爲に次回は期間延長を考慮され度いものです。

晚餐會 は4日の午後6時から上野公園の精養軒で開催されました。土木學會だけの催しです。出席會員約200名で、各地から参加された同窓、舊知、先輩、青年等相會して大廣間で懇談の機會を與へられた事は愉快な情況でした。

異彩を放つた來賓参加者として印度セイロン市の土木技師長マハアバー氏と、タイ國政府の土木技師バラバタナー氏があつた。中川吉造博士の傍で此の2人の異國技師は如何にも自分達の仲間だと云ふ様な喜びの表情を以て、左右の人々に流暢な英語で話してゐました。之は新東亞建設時代の土木學會新風景と見られました。一同食堂に入つてからも歡談はつきません、やがて中村會長の指名によるテーブルスピーチがありましたが、その中で

石井頼一郎博士 はポケットから上京の車中で讀んだ宮本武藏の圓本を出して引例し、武藏が劍聖として修業の傍ら、荒蕪地の開墾を志し、堤防を築き治水工事を施したが、幾度か失敗を重ねて遂に流

水と土との自然の法則に順應しなければならぬ事を覺つた、今日に於て歐米の學者がセンマイ仕掛の公式で苦心して解決せんとする處を、武藏は既に體験により會得してゐた、自分の經驗も武藏に一致してゐる。と述べ

牧野雅樂之丞氏 (京都市土木局長)は今回日本工學會大會講演會に出席して、獨創的研究論文の多くが發表されたのに感服した、日本人は模倣のみで獨創力が無いと云ふ事を多年の間聞いたのであるが之は誤解である、京都市には明治9年に歐米人の手を借りずに立派に水力發電所が建設されてゐる、帝政ロシアの某將軍が日本の國力を視察に来て、模倣日本のみを見て、獨創日本の力を見なかつた。京都の疎水工事の碑にチーフエンヂニヤ、エス、タナベを英文で記してあるのは、日本の獨創的工事たるを外人に示したものである。今日に於ても歐米人は日本人の技術的獨創力を認識しないものが多い、之が爲に新東亞建設の障害となつてゐる處がある、學會が進んで日本の獨創的研究事項を發表し、外國に充分の認識を與へて貰ひ度い。と述べ

原田千三氏 (南滿工業專門學校教授)はロシアの寒地土木研究の必要を説き、

三瀬幸三郎博士 (九大教授)は土木學會東京支部設置の私見を述べられた。(一記者)

懸賞募集

延長64軒の海底隧道掘鑿工法

詳細本誌一月號參照

土木工事書報 第十六卷 建築 第五號	定價金七拾錢 (稅二錢)	毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行
普通購讀料 壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月四圓 稅共 六ヶ月八圓 同 一ヶ年十六圓 同 外國一部 八十六錢 稅共	昭和十五年四月廿六日印刷納本 昭和十五年五月一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區千早町三丁目四二番地 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	關西支局 大阪市住吉區帝塚山東四ノ二八 工事書報社支局 電話住吉3590(呼)
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し、六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事書報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大賣捌所 東京堂・東海堂 大東館・北陸館

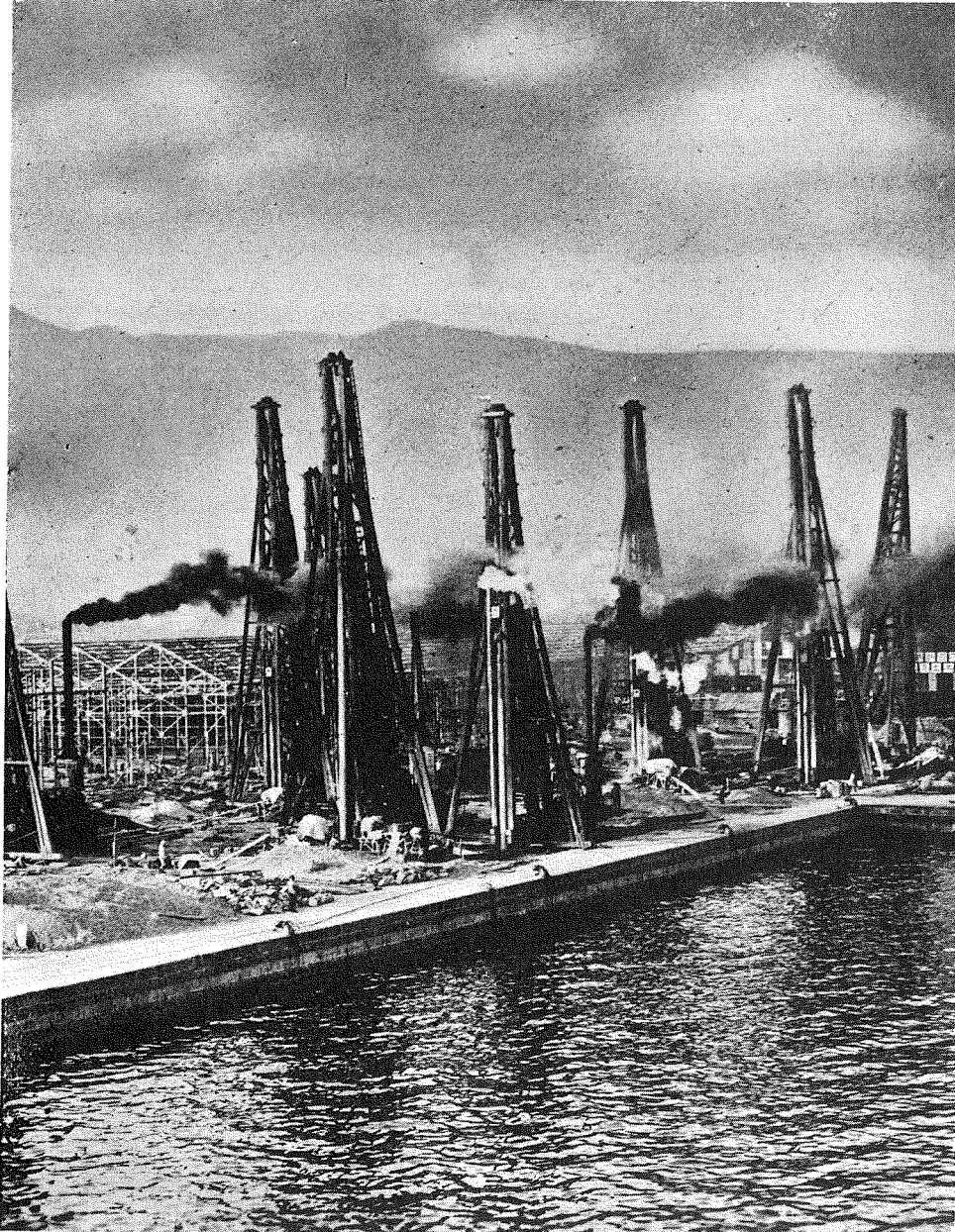
“特許白石式基礎杭”

(白石信親創始)

工法五種—アラユル地盤ニ最モ好適ナル
 工法ヲ施シ土木建築其ノ他如何ナル基礎工事
 ニ於テモ常ニ“強ク”“速ク”“廉ク”出來ル



(寫眞) 特許白石式基礎杭ノ礎底ト其ノ作成中ノ光景

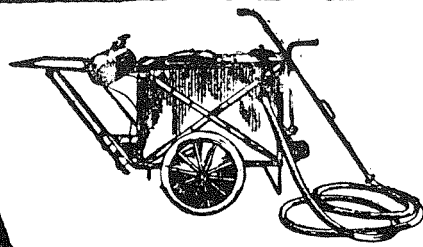


一手施工

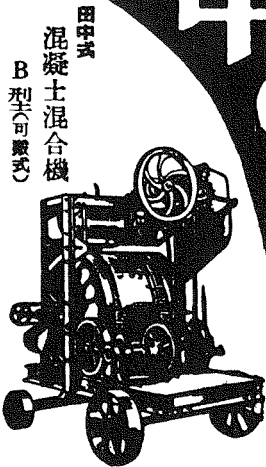
本社
 出張所 東京市銀座
 下記 自六五九番
 各都府市

奉天・撫順・哈爾濱・新京・天津・北京・青島・上海・廣東
 札幌・横濱・名古屋・大阪・廣島・福岡・臺北・京城・大連
大倉工業株式會社
大平工業株式會社

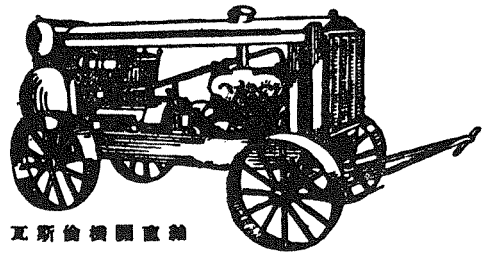
田中の土鑛機械



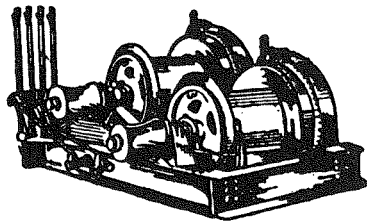
田中式
アスファルト・乳
撒布機



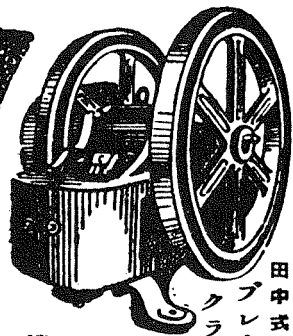
田中式
混泥土混合機
B型(可搬式)



瓦斯倫機關直油
可搬式空氣壓縮機

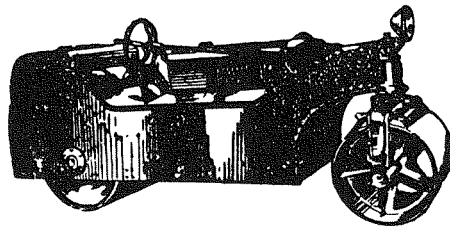


田中式
復胴捲揚機



田中式
瓦斯倫機關
道路輻壓機

田中式
ブレーキ
クラッチャー



鑛山土木諸機械一般・道路鋪裝諸機械

田中土鑛機製作所

東京市京橋區京橋三丁目五番地(京橋際)

電話京橋 { 五五〇九番
八三〇番
國語口屋東京三三六八七番

工場 東京市足立區千住曙町38 (電話足立3924) ・ 支店 奉天市大和區青葉町7番地 電話(3)7265

用途
 上・下水道管
 排水管
 電纜灌漑用管
 送湯・送風管
 橋脚 其他

羽田ヒューム管

製造品目

羽田ヒューム管	道路補装用アロツク
羽田圧力管	コンクリート縁石
鉄筋コンクリート管	コンクリート組立塀
鉄筋コンクリート下水溝	コンクリートケーブル標
鉄筋コンクリート人孔塊	コンクリート境界杭
鉄筋コンクリート溜捌	コンクリートパイル
鉄筋コンクリート電纜溝	鉄筋コンクリート間知石
道路補装用L型溝	一般コンクリート製品

●陸軍航空本部御使用 ●内径 1.500mm ヒューム管 (二重鉄筋管)



東京市蒲田區糞谷町四丁目一六七一
 株式会社羽田コンクリート工業所
 電話・大森 四五八六・羽田 三八一・四九四

超高級

浅野ベロセメント

短期高强度
工事期間短縮
工事費節約



(浅野セメント香港工場)



低発熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

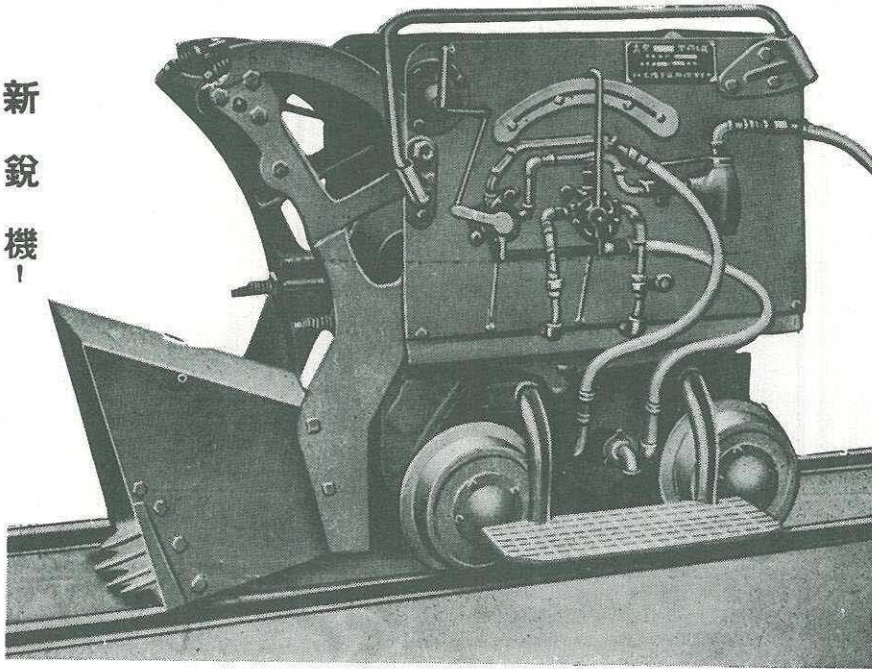
浅野セメント株式会社

東京丸の内・海上ビル新館



” 太 空 ” 600型 礮 出 機

新 銳 機 ！
 太 空 六 〇 〇 型 出 現 ！



紀 元 二 六 〇 〇 年 を 期 し
 太 空 九 八 型 の 改 造 ！

生 産 力 擴 充 ！！

- ◇ 産 金 量 の 倍 加
- ◇ 水 電 工 事 期 間 の 半 減
- ◇ 石 炭 採 掘 能 率 の 增 進

本 機 の 特 長

- ① 使用空気消費量僅少なり；毎分平均 100 立方呎
- ② 狭き加背にても使用し得
- ③ 或る程度機關車の役目をする故切端より機械の移動頗る簡單しかも迅速
- ④ 構造簡單，取扱容易にして運轉に特別の専門家を要せず
- ⑤ 機械は殆んど自動的に働く故人手を要せず
- ⑥ 時間の損失少き故操作並に維持費僅少なり；
 一回積込に要する平均時間 7 秒；
 一噸鑛車積込に要する平均時間 3 分

海 軍 省 指 定

合 資 社 太 陽 空 氣 機 械 製 作 所

東 京 市 ・ 蒲 田 區 今 泉 町 三 〇 一 番 番 地 ・ 電 話 蒲 田 2754・5033・5718 番

定 價 金 七 十 錢
 満・鮮・臺 定 價 七 十 七 錢

（送 錢 料）

大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可
 昭和十五年五月二十六日印刷
 昭和十五年五月一日發行（毎月一回一日發行）

土木 工 事 畫 報 第 十 六 卷 第 五 號